

県医労新聞

2009年3月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

佐々木 茂 喜

毎月1回発行 1825号(月刊40号)



2009.1.24 「地域医療を守れ!いのち輝く岩手を!県民集会」(岩手教育会館)

目次

- 1P 団体交渉 拡大闘争委員会
- 2P 日本医労連中央委員会
東北地方協春闘討論集会
川口浩さんを偲ぶ会
- 3P 第141回中央委員会
情勢学習会 旗開き
- 4P ガイドライン関連
- 5P 1.24県民集会
- 6P 保育所閉所式(中央・北上)
- 7P 看護要求実現全国交流集会
青年部ニュース当選者発表
- 8P つぶやき とんがらし
パズル当選者
- 9P 職場川柳 懸賞パズル
退職者を励ますつどい
3, 4月の予定



講演で国の医療政策を厳しく批判
金沢大学 横山壽一教授

春闘第1回本部団体交渉

病院業務手当、経過措置を引き出す 変則勤務は「職場の合意がベスト」



年次取得で支部交渉が報告された会議

2月17日（火）、09春闘での第1回本部団体交渉が開催され、新しい経営計画、変則勤務問題、手当廃止問題などを追及しました。無床化方針は、地域から強い反発もあり、県議会を含め多数派は一時凍結だ、実施を見直せ、と追及。しかし、「待てば問題がより深刻化する」とし、強行する姿勢を崩しませんでした。

変則勤務の拡大は、あくまで選択肢を増やすだけ、などと回答。しかし、現在の3時間の時差勤務についても、「職場での同意、合意で実施することがベストだ」との回答を引き出し、各支部でも交渉強化が必要になっていきます。

諸手当廃止では、4月から廃止ではなく、2年間の経過措置を提示。さらに、待機手当、夜間看護手当等の引き上げなどが提示されました。（詳しくは号外No.2787を参照）

変則勤務には、 断固反対を確認 拡大闘争委員会

第1回拡大闘争委員会が2月18日（水）に開催され、前日の団体交渉も受け、当面する方針を協議、確認しました。

変則勤務問題は、アンケート結果も含め、職場から反対の声が大きく、阻止するために運動していくこと、問題の根本には、総師長会からの要望があることから、各支部でも追及していくこととしました。

諸手当廃止では、経過措置を受け入れた上で、早番手当も含めた経過措置、日額の早期確定などを、引き続き追及することとしました。



超勤を書かせない職場実態も告発

日本医労連第40回中央委員会

産別の方をひとつに！

1月28日から29日、全労連会館にて第40回中央委員会が開催され、青年、女性の特別執行委員、オブザーバーなど全国から134名が参加しました。

田中千恵子中央執行委員長は「09春闘で雇用破壊・介護崩壊にストップをかけよう。100年に1度の不況に對し、私たちは100年に1度の大闘争を」と呼びかけました。

討論の前に不当解雇撤回を求め、闘い続けてきた盛岡精神病院従業員組合の〇〇〇執行委員長より、「職場復帰は叶わなかったが、和解金を支払わせたことは今後の判決で重要なものとなるだ



執行委員長〇〇〇の盛岡の報告を解決議論

ろう」と争議解決を報告しました。また、全国の仲間へ物品販売の協力など争議支援への感謝を述べました。

討論では、統一回答指定日に対する修正案がだされ、それに関連し、活発な意見が多く出されました。

これを受け総括答弁では西川書記長が方針を補強し

たため、修正案は取り下げられ全員一致で09春闘方針が決定されました。

2日間で34名が発言しました。

東北地方協春闘討論集会 賃上げで景気回復を！

2月7・8日、日本医労連東北地方協春闘討論集会が開催され、東北各県から約200名が宮城県松島に集結しました。

全体会では「暮らしと経済研究室」主宰の山家悠紀夫さんが記念講演を

川口浩さんを偲ぶ会

2月21日(土)、「ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング」を会場に、県医労元中央執行委員長の「川口浩さんを偲ぶ会」を開催しました。かつて川口さんと共に活動してきた方々を中心に約90名が集まり、川口さんの功績や思い出を振り返りました。



るたたかい(県医労・〇〇書記長)の2つの特別報告を行いました。

その後は、5つの分科会と青年や自治体などの分科会に分かれ、それぞれのテーマに沿って会議が進められました。

新たに加わった医労連共済の分科会では、おもに制度改定の検討事項について、意見交流しました。

行い、「日本の景気回復には賃上げこそが必要」とし、09春闘での労働組合の役割の大きさを話しました。

岩手からは、争議解決の報告(盛岡分組・〇〇委員長)と地域医療を守

第141回中央委員会

時差勤務拡大・二交代勤務導入阻止!6地域無床化反対! 勝利をめざし最後までたたかおう!



厳しい職場状況が次々と報告されました

「フレックスタイム」に対する勉強会が半強制的に行われていたり（胆沢）、「協約を締結して時差出勤を開始した」などの報告がありました。また「医師が3月で退職し、二人減となるため、ベッドを40床削減する予定」（南光）など医師不足が診療体制に影を落としている実態も報告されました。さらに無床化が提案されている診療センター支部からは、「入院患者を2月中に転院させるよう指示された」という、医療局が、すでに無床化を決定しているような発言もありました。

春闘最大の課題は、時差勤務拡大・二交代導入阻止、6地域の無床化反対です。勝利を目指し、最後までたたかう事を確認しました。

23日の夜は旗開きを開催し、講師も囲んで交流し、団結を固めました。



今年も団結してがんばろう(旗開き)

県医労第141回中央委員会が1月23日（金）、24日（土）、盛岡市つなぎ温泉のホテル紫苑で、開催されました。

討論では、「からだがかたくなるくらい、超過勤務が多い」、「10対1や7対1を確保するために、見合い年次がとれない」、「育児休業や病休などで、看護師が50人も夜勤できない。早出も行っているが、早出より9回夜勤のほうがまだいいという看護師もいる」など、各職場の厳しい実態が出されました。特に、時差勤務が広がっており、

情勢学習会

アマチュアはプロの声を聞け! (医療局) (現場)



1月23日、情勢学習会が開催され、立教大学大学院の福田秀人教授（写真）が「行政、医療、患者…みんなを不幸にするアマチュアの論理=成果主義、電子カルテ、患者満足論の落とし穴」と題し、講演しました。

「物事を深く考えないアマチュアイズムは単純明快で共感を得やすいが、導入された現場では、当事者のモラルが破壊される。電子カルテはITありきで現場から遊離した『医療IT推進論』から始まっている。プロの勘は正しい、おかしいと思った事はほとんどその通り。働く人の意見を取り入れない電子カルテの導入は現場が混乱する」、との話にみんな納得し、電子カルテを導入している現場からは質問が集中しました。

無床化反対のたたかいはこれから

住民連絡会を結成し、運動強化 2月県議会に注目を！

24日の県民集会を受け、各地域での無床化反対の運動は、ますます広がりを見せています。

県民集会で準備会として発足した6地域の住民組織

連絡会は、2月3日、初めての会合を開催し、「岩手県地域医療を守る住民組織連絡会（代表 及川剛）」を結成



2月3日 「住民組織連絡会」発足記者会見

（以下、住民連絡会と略）しました。「申し合わせ」「声明」では、学びあい、励まし合

2月10日は、住民連絡会として県議会各会派、地元県議などへ「無床化計画の一時凍結を求める要請書」を手渡し、12月県議会で採択された請願及び付帯意見の実施を県医療局に求めるよ

住民組織の署名運動も、広がっています。大迫地域の署名は、町内を中心に5,331筆を集約

2月10日は、住民連絡会として県議会各会派、地元県議などへ「無床化計画の一時凍結を求める要請書」を手渡し、12月県議会で採択された請願及び付帯意見の実施を県医療局に求めるよ

していましたが、花巻市に広げて取り組まれしました。2月9日には、35,002筆分を提出。

2月10日は、住民連絡会として県議会各会派、地元県議などへ「無床化計画の一時凍結を求める要請書」を手渡し、12月県議会で採択された請願及び付帯意見の実施を県医療局に求めるよ

他の地域や、私たちが取り組んだ「県民のいのちと地域医療を守る署名」を含め、6,035筆を提出。これまで提出

2月10日は、住民連絡会として県議会各会派、地元県議などへ「無床化計画の一時凍結を求める要請書」を手渡し、12月県議会で採択された請願及び付帯意見の実施を県医療局に求めるよ

した署名は約10万筆に上ります。



2月9日 これまでに10万筆を超える署名を提出

う要請しました。また、この日は、「新しい経営計画」の最終案が医療局から県議に説明される、ということもあり、県議会ロビー等で、横断幕などを掲げ、県議へのアピールをしました。

2月16日には、自民クラブ、政和・社民、共産、公明、無所属の26人（全県議47人）が連名で、12月県議会で採択された

無床化計画の「一時凍結」を求める要請書を知事、医療局長に提出しました。

パブリックコメントや住民説明会の軽視だけでなく、こうした県議会の多数の意見、住民の声をまったく顧みず、

医療局では2月17日に無床化方針を最終決定した、と

しています。しかし、住民組織はあきらめず、運動を強化し、連携を深めています。

2月県議会開会日の19日には、全6地域から約70人が

集まり、昼休み時間に県庁・県議会前で「知事の政治決断」で無床化撤回を、と宣伝をし、県議会を傍聴しました。



2月10日 県議会各会派、地元議員への要請

集まり、昼休み時間に県庁・県議会前で「知事の政治決断」で無床化撤回を、と宣伝をし、県議会を傍聴しました。

県医労としても、病院前でのチラシ配布や地域医療懇談会の引き続きの開催、

「地域医療と公立病院の充実のため、医師・看護師の確保と財政保障を求める国会

請願署名」に取り組み、地域医療を守る運動をいっしょに

推進していきましょう。

全県から地域医療守れの大きな声

1.24 地域医療を守れ!いのち輝く岩手を!県民集会



寒空の下、盛岡市内をアピール行進



地域医療を守れ!
県民集会が1月24日
(土)、盛岡市「岩手教
育会館大ホール」で
開催されました。
雪を心配しながら、
会場準備をすす
めていると、あとい
う間に開場時間にな
り、次々と地域から
バスが到着しました。
500部の資料がな

くなり、急いで追加作成しな
がら対応。最終的には、無床
化を計画されている6地域
全てと久慈、千厩、宮古など
県内各地から720名が参
加しました。会
場には通路に座
る人や立ち見す
る人の姿も見ら
れました。



花泉の地域の会の代表として
〇〇支部長(花泉)が決意表明

オープニングの
太鼓の音が心に
響き、講演の横
山壽(教授(金沢
大学)の国の医
療政策への厳し
い批判で根本原
因が胸に落ち、
圧巻は6地域代
表の万感の訴え

が参加者の胸を打ちまし
た。
各地域の発言の最後に、紫
波地域の医療と福祉を守る
会代表の及川さんが発言。
集会前に6地域の代表が集
まり、各地域の住民組織の
連絡会準備会を立ち上げる
ことを確認し、結成をめざす
ことが報告されました。
集会後、アピール行進を行
い、「地域医療を守れ」の声
を響かせました。



オープニングの佐比内金山太鼓(紫波町)

保育所閉所式

ありがとう
がんばったよね私たち

「子どもを産み、育てながら働き続けたい」—そんな働く女性の願いを実現しよう、40数年前、何もな

いとところから保育所をつくり、組合と保育士が共に運営してきた院内保育所が、

この3月で閉所することになりました。

これは2008年2月、医療局が女性医師確保のため、24時間保育の実施を提示してきたことに対し、県医労健生会として、対応

できる力量・経験がないことや運営が厳しいこと、働く親と子にとって24時間保育がよいとは思われないことなどから、3月末で保育所事業からの撤退を決めたものです。

保育所の委託先が4月から変更になるため、各保育

所で閉所式が行われています。この間、2月7日に北上こぼと保育所で、2月22日には中央あゆみ保育所で北上こぼと保育所閉所式と記念誌



中央あゆみ保育所閉所式と記念誌

閉所式が行われました。

閉所式には保護者、保育士、OBなど、北上こぼと保育所では79名、中央あゆみ保育所ではおよそ280名が参加。子どもたちのお遊戯や、保育所の歴史を刻んだスライド上映、保育士の先生方の余興を楽しみました。

参加者は懐かしい人との再会や、保育所のあゆみを振り返り、これまで保育所

運動に携わってきた方々への感謝の思いを胸に、閉所を惜しみました。

3月1日には久慈すぎの子保育所、20日は江刺あゆみ保育所、南光なかよし保育所、28日は宮古あすなろ保育所、釜石つくし保育所、4月18日には大船渡ドレミ保育所で閉所式が行われます。

看護要求実現交流集会

働き続けられる職場を勝ち取る!!

「村上優子さんの教訓を職場で生かそう」

09年春闘看護要求実現交流集会が2月11～12日熱海市にて開催されました。全国から242名が参加、岩手からは16名、県医労は7名が参加しました。

記念講演は、看護労働研究家の角田由佳氏。日本と欧米の看護労働を比較し、増員や労働条件改善の必要性を指摘しました。

特別報告では、大阪医労連の松永律さんが、村上優子さんの勝利判決を受けてこれまでの闘いとその意義について述べ、「判決を増員、職場の改善にいかして欲しい」と訴えました。

分散会では、二交代夜勤の職場から「からだも心も

疲れる」「患者さんに優しくできない」などの声が上ががり、撤回見直しを求めて運動しているとの発言がありました。

看護師確保法の改正、看

護職員需給見通し、大幅増員と働き続けられる職場作り、など今春闘に元気に奮闘し、看護要求実現にむけて、全国の看護職が意思統一と経験交流を行いました。

この春、退職される組合員の方、小・中学校入学、中学卒業のお子さんがいる組合員の方に医労連共済から給付金が出ます。



退職給付金

組合加入(3年以上) 1万円

組合加入(25年以上) 2万円

入学・卒業祝い金 1万円

90日前から請求できますので、お早めに!

【マニアなお部屋】当選者

Aコース:③MS-18E

Bコース:②ワンダースワン

当選者は、

Aコース:P. N. ぷるゾーさん、50 ストームさん、アカハナさん。

Bコース:〇〇〇〇〇〇さんでした。

写真の景品をお送りします。おめでとうございます。



青年部・新年号クロスワード 当選者発表

青年部・新年号クロスワードに23名の応募があり、22名が正解でした。1名の方は残念ながら、答えが記載されていませんでした。厳正なる抽選の結果、次の10名の方に図書カードをお送りします。

当選者(敬称略)

〇〇〇〇(大迫支部)、〇〇〇〇、〇〇〇〇(以上、千厩支部)、〇〇〇〇(高田支部)、〇〇〇〇(遠野支部)、〇〇〇〇(胆沢支部)、匿名希望(江刺支部)、私の青年時代、〇〇〇〇(以上、中央支部)、〇〇〇〇(大東支部)

つばざき

機能評価、疲れました。あの時期は仕事をしに来ていたのか、機能評価のために来ていたのか…。

中央支部 ぶよ

いわて競馬のCMを見て、あのお金が医療福祉に使えたらと何度も思っています。次々と奇策を出す当局案に労働意欲をどんどん剥ぎ取られていく気がしてなりません。医師対策も大事ですが職員対策も検討してもらいたいです。

釜石支部 バンビ

毎日色々な研修会（学習会）があります。どれも大事なのでしょうが、日々の業務だけで精一杯です。皆と歩調を合わせ仕事をする事で精一杯です。

胆沢支部 セントアキ

先日近くのスーパーで20%減塩なる味噌を買いました。早速、味噌汁を作ったのですが味が薄い！いくら減塩だって20%多く入れたら意味がないのでは…。

花泉支部 ラスコリーノコ



戦争好きのブッシュから

オバマへ。ブッシュの残したものは、湾岸戦争、イラク・イラク戦争と大不景気。小泉しかり同罪。引退したはずの小泉は、一党制をめざすと言いつつ出た。田中真紀子の言うように変人すぎる。日本史のハイライトを原始時代から読みあさった。私利私欲の戦いを繰り返す。

返ってきている。そして変人も沢山いたことを改めて学習した。トホホ…。

中央支部 オバマ好きオバマン

定年退職したら、のんびり暮らしていけるものだと思っていたのに、定年後も働かなければ生活していけないかもしれない時代になって来ました。働くところあるかしら。

磐井支部 チャッピーママ

一月号パズル

当選者発表

1月号の懸賞パズル「まちがいは7つ」には、33名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、当選された20名の方には、すでに支部または自宅宛に図書カードをお送りしています。※発送を以て発表と換えさせていただきます。

とんがらし

「住民説明会で出された要望はどうなったの?」「地域懇談会での意見は?」「パブリックコメントは生かされたの?」

数多くの要望・意見・疑問に答えることなく、ただ、時間切れまで、「説明」の努力をしたというアリバイづくりをした県・医療局▼しかも、達増知事は、「計画案一時凍結」という県議会「請願」採択後も、「計画はベスト。代案があれば出しなさい」、「県立病院は重症患者。押さえつけてでも手術をしなければいけない」、「騒いでいるのは特定の地域の人の声無視の姿勢をあらわにしました。しかも、知事「自ら地域に向いて説明する」と言いながら、ただの一度も地域に顔を出さずじまい▼採算を重視する余り、わずか半年前にした約束さえ反故にし、地域診療センターを無床にする、病床利用率の低い沼宮内病院を来年四月から無床にする、こんなやり方を許したら、赤字の県立病院はつぶしてしまえ、ということにつながり兼ねません▼「県民の、県政のリーダーである知事は、痛みの矛先を地域に、県民に向けるのではなく、全国の知事と共に、国に対し『これまでの医療施策は誤りであり、抜本的な制度の転換に向けた政策を』と行動すべきである」とのメッセージが、ある特養ホームの園長から届いています▼今回の県立病院経営計画案をめぐる一連の県・医療局の対応は、県議会のみか県民・住民の切なる声にも耳を貸さず、国言いなりの施策をこり押しする強権姿勢を多くの県民に強く印象づけています。

- 説明会 パブコメ懇談 アリバイね
- 民営化 ボロが出てきて 慌ててる (後付専門員)
- 血税で 不正経理の 穴を埋め (ポストマン)
- 春一番 「愛と信頼」 吹き飛ばし (仕事人)
- 雇用切れ 家族の縁も 切れました (ホームレス中高年)
- ## 職場川柳

退職される皆様へのご案内

退職者を励ますつどい

とき 4月19日(日)~20日(月)

ところ 秋田市仙北市
「たざわこ芸術村」

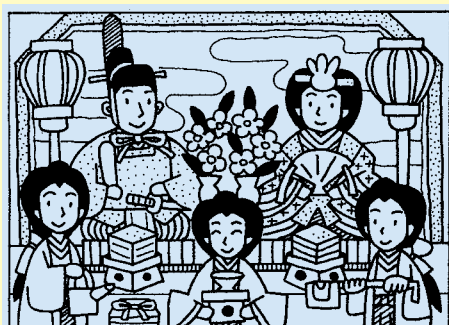


内容

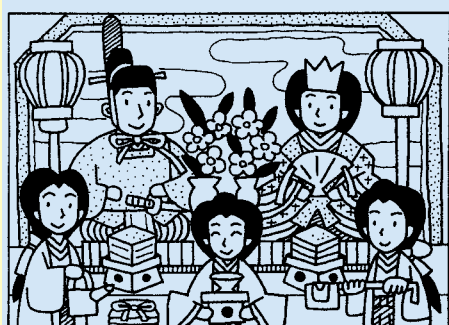
- ◇わらび座 「坊ちゃん」観劇
- ◇手作り体験または 角館武家屋敷散策
- ◇田沢湖ビールで昼食

上下どちらかの絵に7つの間違った箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に記念品を送ります。送り先は〒020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は3月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つぶやき」

懸賞パズル



まちがいは7つ 桂



(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合もありますので、匿名希望の場合には、その旨を書いて下さい(ペンネーム可)。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入もお忘れなく!

3月の予定

- 1日(日) ビキニデー
- 7日(土) 国際女性デー県集会(勤労福祉会館)
保育士代表者会議(水産会館)
- 10日(火) 県公務共闘総会
- 13日(金) 重税反対県中央集会(教育会館)
- 20日(祝) 拡大闘争委員会(県民会館)
3.20世界の平和を願う市民のつどい
in岩手(教育会館)
- 26日(木) 産別統一行動・県医労第2次統一行動
早朝集会

4月の予定

- 3~4日(金土) 岩手医労連共済担当者会議
- 19~20日(日月) 退職者を励ます集い(わらび座)
- 25日(土) 拡大闘争委員会

